







## 平成26年度現地検討会実施状況（エゾシカ対策）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
エゾシカ対策	エゾシカ簡易影響調査研修会	6月17日	上川北部森林管理署 上川中部森林管理署	士別市（上川北部署国有林）	国有林 19名 民有林 28名 事業体 名 研究機関 名 その他 名 合計 47名	国有林と民有林（道有林）でのエゾシカ被害の正確な把握に向け、調査方法を統一する。	・エゾシカ簡易影響調査チェックシートの記載方法（座学） ・エゾシカ痕跡の見分け方（座学） ・現地で実際に林分を見ながらの実習（実習）を行った。	
エゾシカ対策	民国合同による「エゾシカ影響調査・簡易チェックシート」研修会	6月24日	日高振興局 日高南部森林管理署	浦河町（日高南部署国有林）	国有林 15名 民有林 44名 事業体 名 研究機関 名 その他 名 合計 59名	エゾシカによる森林被害の対策として国有林が取り組んでいるエゾシカ影響調査・簡易チェックシートを道有林・一般民有林へ導入する。	・国有林、民有林の関係者を対象として合同研修会を開催し、研究者を講師に迎え、エゾシカによる森林の影響、エゾシカの生態等についての講義、エゾシカ被害状況の説明、チェックシートの記入方法について現地実習を行った。	 森林内でエゾシカの被害状況
エゾシカ対策	渡島檜山地域天然林エゾシカ簡易影響調査研究会	7月29日	檜山森林管理署	知内町（民有林）	国有林 5名 民有林 23名 事業体 名 研究機関 名 その他 名 合計 28名	国有林で実施している「天然林エゾシカ簡易影響調査」の調査手法などを民有林に普及する。	・渡島総合振興局及び檜山振興局職員を対象に、福島町の民有林において、エゾシカ簡易調査の必要性や調査手法、チェックシートの記入方法、エゾシカの食痕の見分け方等について国有林職員から説明するとともに、チェックシートを用いて模擬調査を実施した。	 エゾシカの食痕
エゾシカ対策	エゾシカの立木食害等が天然更新等に与える影響調査事業	10月3日	北海道森林管理局保全課	新冠町（日高南部署国有林）	国有林 16名 民有林 名 事業体 名 研究機関 4名 その他 名 合計 20名	エゾシカによる立木食害への対策を検討する。	・エゾシカによる立木食害調査の固定プロット設置箇所において現地踏査を行い、前回の調査以降の経年変化、被害状況、今後予測される現象について、専門家のアドバイスを受けた。 ・防鹿柵設置林分の柵内外の現地踏査を行い、エゾシカによる影響度合いの違いなどについて専門家のアドバイスを受けた。	 固定プロット付近での意見交換
エゾシカ対策	胆振地域林政連絡会議に係るエゾシカ対策検討会	11月25日	胆振東部森林管理署	苫小牧市（胆振東部署国有林） 白老町（胆振東部署国有林）	国有林 9名 民有林 9名 事業体 名 研究機関 名 その他 名 合計 18名	国有林・民有林におけるエゾシカ対策を連携する。	・エゾシカ対策について、室内及び現場で意見交換を行った。 【室内】 ・林道除雪予定箇所の確認 ・エゾシカによる森林被害の現状 【現場】 ・食害対策防護ネットの設置及び視察	 食害対策防護ネットの設置状況

## 平成26年度現地検討会実施状況（エゾシカ対策）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
エゾシカ 対策	平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業に係る現地検討会	2月10日	北海道森林管理局保全課	新ひだか町（静内国有林）	国有林	20名	地域の農林業関係者等と連携を図りながら、森林生態系の保全と農林業被害の軽減を目的に、これまで開発試行されてきた効果的な捕獲・対策手法を組み合わせ、効果の実証を行う。 また、今後の国有林内における対策を展望したエゾシカ対策について、地域の現状をはじめとした情報共有を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の背景目的等について室内で説明、質疑を行い、今回行った簡易囲いワナやGPS首輪・UAV（無人航空機）の情報機器と連携したマルチスケールのモニタリング体制について意見交換を行った。</li> <li>・また、午後は給餌箇所を移し、現地の状況に則したエゾシカ対策について、専門家の意見をいただきながら意見交換等を行った。</li> </ul>	
					民有林	4名			
					事業体	9名			
					研究機関	1名			
					その他	名			
					合計	34名			
エゾシカ 対策	平成26年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業に係る現地見学会	2月23日	日高南部森林管理署	新ひだか町（静内国有林）	国有林	18名	当署管内で実施された、エゾシカによる地域の森林生態系への影響及び農林業被害の軽減対策の目的で、効果的な捕獲・対策手法等の実証事業について、国有林内における諸被害等の調査を行っている職員に、今後のエゾシカ対策の現状及び将来を見通した効果的な対策の検討及び技術の情報共有を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の事業背景及び現地作業等の状況及び意見交換会（2月10日）の様態を記録したビデオを本署会議室で上映を行い意見交換した後、囲いワナ設置箇所へ移動して、事業実施者から、現地及び簡易囲いワナの説明、今回林況の観察等で利用したUAV（無人航空機）によるデモ飛行後、意見交換、および質疑応答を行った。</li> </ul>	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	2名			
					合計	20名			

現地での意見交換

簡易囲いワナの状況